

保護者の皆様

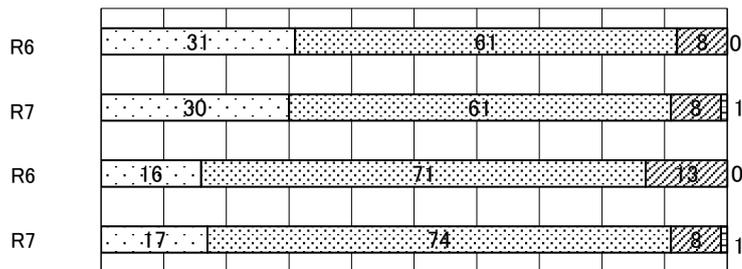
竜王小学校
校長 山本 照代

令和7年度 学校評価のご報告について

向春の候、皆様にはますますご清栄のこととお喜び申し上げます。
日頃は、本校教育に格別のご支援とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。
さて、昨年12月に3～6年生の児童、全保護者の皆様を対象に「学校評価アンケート」を実施させていただきました。その結果についてまとめましたので、お知らせします。
保護者アンケートの回収率は、約68%でした。ご協力いただきました保護者の皆様、大変ありがとうございました。
全体的な傾向として、児童、保護者様とも多くの項目で肯定的な回答がほぼ8割以上の評価を頂きました。
しかし、個々の項目を見ていきますと、肯定的な評価が昨年度より下がっている項目や8割に満たない項目もありました。
こうした結果を様々な角度から分析、検討することで、今後の学校改善につなげ、子どもたちの健やかな成長につなげていけるよう全力を尽くしたいと考えています。
保護者の皆様におかれましては、学校をよりよくするための貴重な機会と捉えていただき、今後ともご協力をよろしくお願い申し上げます。

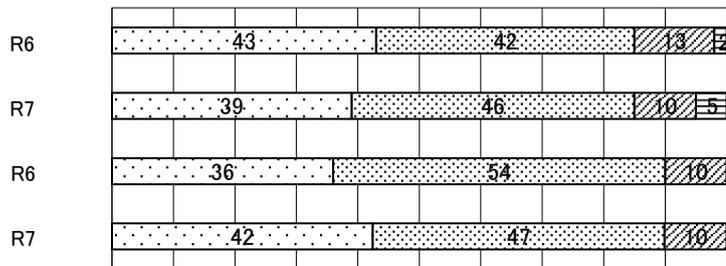
※グラフ内の数値は%
左から順に「よくあてはまる」「だいたいあてはまる」「あまりあてはまらない」「全くあてはまらない」

1	学校目標や自分たちの学級で決めた学級目標など、めあてに向かって取り組んでいる。	児童
1	子どもは、学校目標や自分たちの学級で決めた学級目標など、めあてに向かって取り組んでいる。	保護者



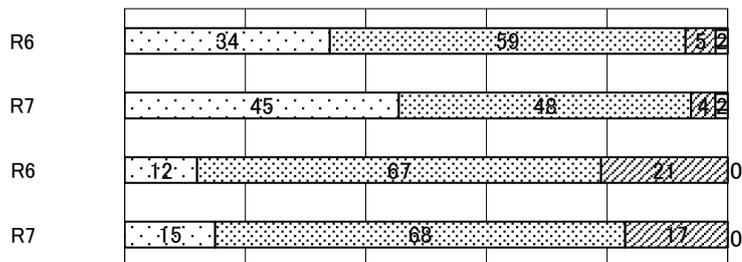
保護者の肯定的な評価の割合が増えています。今年も「かんがえよう・たすけあおう・やってみよう」を合言葉として、学校目標の実現に向けて様々な取組を進めてきました。日々の学習に子どもたちが楽しみながらも目標を持つことでより一生懸命に取り組む姿が見られました。子どもたちが頑張っている様子をブログや学級通信などで家庭に発信していった成果であると思います。今後も子どもたちにめあてに向かって取り組んできた自覚を持たせるために、頑張ったことを認め称賛することで自信につなげ、次への原動力になるような声かけを大切にしていきたいと思えます。

2	学校は楽しい。	児童
2	子どもは学校生活を楽しんでいる。	保護者



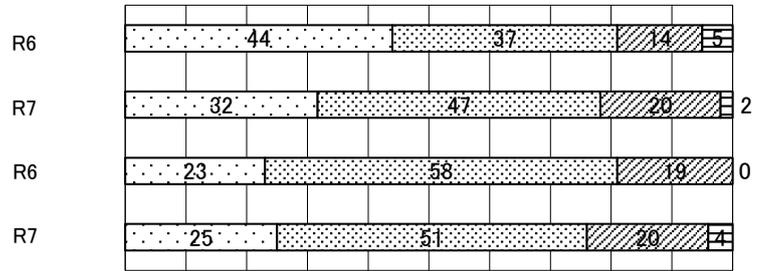
保護者の強肯定が増えたことは大変嬉しいことです。「認めあい・高めあう集団づくり」に向け取組を進めてきた成果と考えています。また、次の問の結果にもあるように、授業内容を理解しているという回答が増えたことも学校が楽しいということにつながっていると考えています。今後も、肯定的でない評価の児童がいることをしっかりと受け止めて、すべての児童が「楽しい」と感じられる学校をめざし、授業づくり、仲間づくり、心を育てる道徳教育を進めます。子どもたちの様子をしっかりと見守り、どんな些細なことにも注意を払いながら、どの子も楽しく学校生活を送れるよう授業や行事を通して学級集団づくりについて力を入れていきます。

3	授業はわかりやすい。	児童
3	子どもは授業がわかりやすいと言っている。	保護者



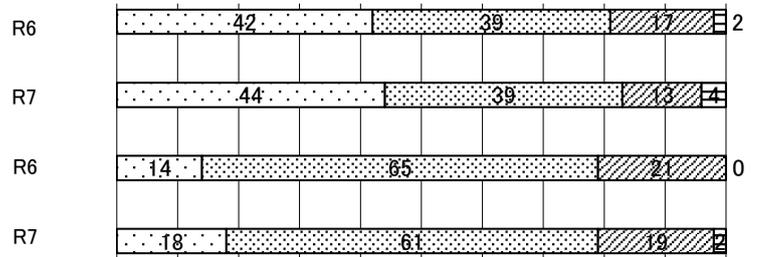
この項目では児童の強肯定的な評価が増えています。今年度も3年生以上の算数を少人数で行ったり、支援員の配置で一人ひとりの様子に目が行き届いたのではないかと考えています。また、今年度は、子どもたちが話し合いたくなるような問いを取り入れることに力を入れて指導してきました。子どもたちが興味を持ち、考えを広げたり深めたりしたくなるような問いを設定したり、「もしあなたが～」というように自分の考えを引き出す問いを取り入れたりとより主体的な学びを促してきました。今後も子どもたちが自ら考え、思いを伝えたいくなるような授業となるように教職員はさらに研究に努めていきたいと思えます。

4	宿題や予習復習など家庭学習をがんばっている。	児童
4	子どもは宿題や自主学習など家庭学習をがんばっている。	保護者



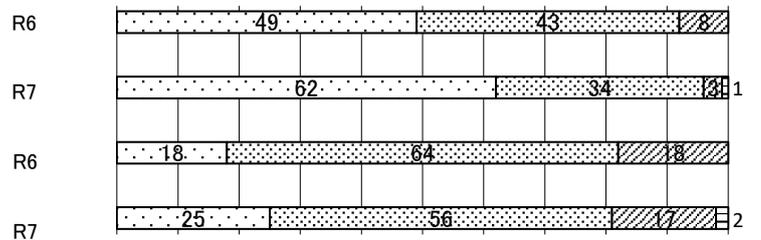
昨年度までよりも肯定割合が少なくなっています。子どもたちのほとんどは決められた宿題を家できちんとすることができていますが、自分で計画を立てたり、予習や復習に取り組んだりする習慣は十分に身に付いていないという課題が見受けられます。また、学習時間の長さだけでなく学習への取り組み方に課題を感じておられる保護者が多いのではないのでしょうか。今後も「家庭学習がんばり週間」の取組やノートの使い方指導等を行い、家庭学習がより充実したものになるよう指導していきます。ご家庭でも10分×学年+10分という家庭学習時間を目標に充実した家庭学習ができるよう、ご協力をお願いいたします。

5	竜王チャレンジタイム(竜チャレ)では目標をもってがんばっている。	児童
5	子どもは、竜王チャレンジタイム(音読・計算・漢字)の取組により、基礎学力が定着してきている。	保護者



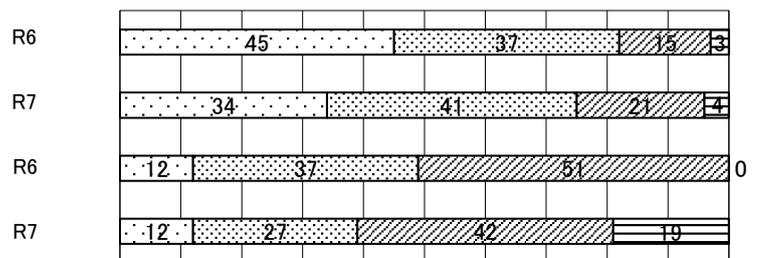
竜王チャレンジタイムは集中力を高め、基礎学力の定着を目指して取り組んでおり、漢字を多く覚えられるようになったり、集中して学習に取り組んだり、一人ひとりが自分の力を伸ばしています。取組開始より7年が過ぎましたが児童評価・保護者評価共に強肯定の評価の割合が増え、「少しずつですが基礎は定着しているように感じている。」というご意見もいただきました。ただ行うだけでなく、目標を持って取り組めるようにすることや伸びを測定するなど意欲付けをしてきたことが結果として表れていると考えています。ご家庭でも竜チャレの様子について子どもたちに聞いていただき、励ましの声かけをよろしくお願いいたします。

6	学校では、タブレットを使っての学習もしている。	児童
6	学校は、タブレットパソコンなどのICT機器を活用して学習をすすめている。	保護者



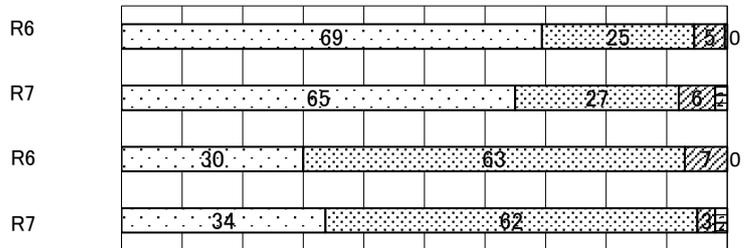
今回の学校評価で児童の強肯定の評価が一番伸びた項目です。タブレットを使って自分の意見をまとめて友だちと発表しあったり、インターネットを使って調べ学習をしたりしています。また、写真や動画を撮影し繰り返し再生したり、オンライン学習を行ったりと活用の幅を広げてきた成果であると考えます。授業に生かせる新しいソフトを町より導入していただき、教員の研修を長期休業中に行ったり、ICT支援員に協力していただき学習で使える新しい教材を多数教えていただいたりしてきました。今後も、より効果的な学習への活用をめざして研修や研究を進めていきたいと考えています。

7	読み聞かせや朝読書の時間、休み時間、読書週間などで本に親しむことができている。	児童
7	子どもは、日頃から読書に親しんでいる。	保護者



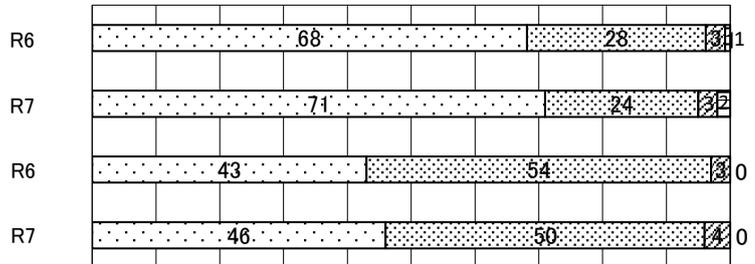
残念ながら肯定割合が少なくなっています。読書は語彙力や思考力だけでなく心の豊かさや共感力を育てます。子どもたちが読書に向かえるよう学校では町立図書館からの学期ごとの学級文庫の貸し出しやブックトーク、毎月の移動図書館、各学級での朝の読書タイムや学期ごとの「クラスおすすめNo.1本を決めよう」の取組など、休み時間はもちろん学習の合間にも読書ができるような環境を整えながら読書活動を進めております。今後も、学校での「読書の時間」を確保するとともに、読書ボランティアさんやファミリー読書など地域や家庭との連携を図りながら読書活動をさらに強化していきたいと考えています。これからもご家庭での声かけ等、ご協力をよろしくお願いいたします。

8	学習やクラブ活動などで地域の方々に教えてもらったり手伝ってもらったりすることは、うれしい。	児童
8	学校は保護者や地域、学校支援ボランティア、学校運営協議会の方々と連携し、開かれた学校づくりに努めている。	保護者



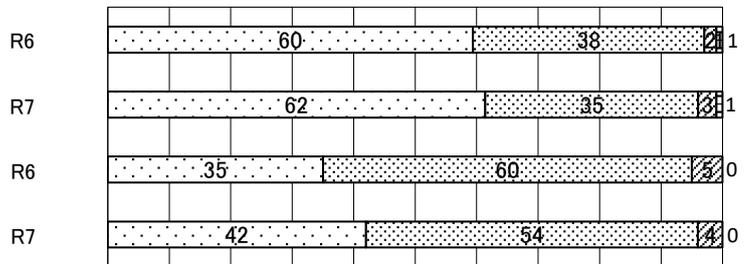
今年度の児童アンケートでは肯定的な割合が、昨年度より2ポイント下がりました。数値はわずかな変化では変化ではありますが、子どもたちの感じ方に目を向ける大切な手がかりと受け止めています。学校運営協議会や地域学校協働本部を始めとした地域の皆様の温かいご支援に改めて感謝を申しあげるとともに、子どもたちがより喜びや学びを実感できる関わり方を、学校と地域で一緒に考えていきたいと思ひます。

9	学校で思いやりの大切さ、いじめは許せないことなどについて学んでいる。	児童
9	子どもは思いやりの大切さを理解し、いじめは許せないこととして行動している。	保護者



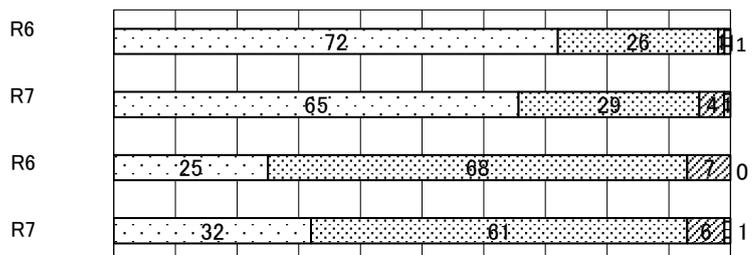
児童の強肯定が一番多い項目でした。「心のアンケート」や、「人権を確かめ合う日」の啓発放送、各学級における道徳や学級活動の授業などを通して、いじめはどんなことがあってもいけないことだという心を育てる指導に力を入れてきた成果であると考えます。また今年度からは人権委員会が司会・進行を行い、各学級の代表が集まって子どもたち自身で人権週間の取組について話し合う「竜王っこ会議」など、子どもたちを主体とした取り組みを行ってきました。今後も集団づくりを核に据えた取組を継続しつつ、集団を構成する一人ひとりの思いにもしっかり耳を傾けながら指導を進めていきます。また、同時に教職員の人権感覚を高めていくことや足並みをそろえた指導にも心がけていきます。

10	学校で決まりを守ることの大切さや正しい行動の仕方を学んでいる。	児童
10	子どもは決まりを守り、正しい行動をとろうとしている。	保護者



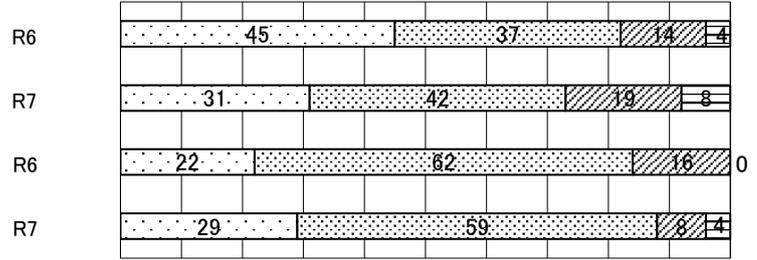
児童や保護者の肯定的な評価は9割5分を超えるなど、決まりを守ることや正しい行動をとることに対する意識の高さがうかがえます。保護者にも子どもたちにもルールを守っているという自負があるということで嬉しいことです。学校でも道徳や学級活動などの時間や日常生活の中で指導していますが、それ以上に地域・家庭での日頃の教育力の高さの表れだと感じています。児童に様々な約束やルールが正しく浸透しているのかなど、教職員が足並みをあわせつつ今後も指導を続けていきたいと思ひます。家庭でのお手伝いや家庭学習、スクリーンタイムについて等、ご家庭でも様々な決まりがあることと思ひますが、守れるように声かけをお願いいたします。

11	学校で交通事故にあわないようにする方法や、災害、不審者などにどう対応したらよいかを学んでいる。	児童
11	学校は、交通事故にあわないようにする方法や、災害、不審者などにどう対応したらよいか等、子どもたちの安全安心のための指導ができている。	保護者



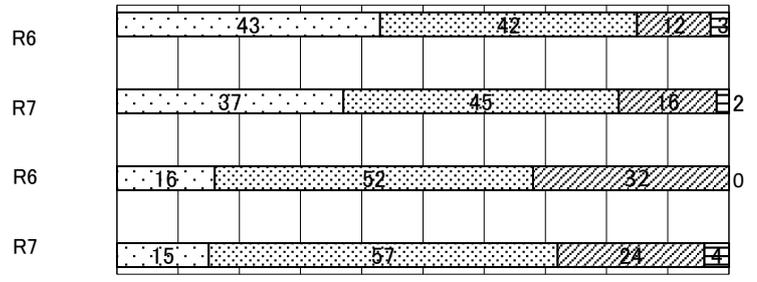
登下校については、保護者の皆様や字委員の皆様、スクールガードの皆様のご協力を得ながら様々な課題に対応しています。特に字委員の皆様が行ってくださった通学路点検を参考に、町に危険個所の改善要望を出しており、順次、対応をしていただいているところです。また、下校時は、一旦運動場に集まって注意などがあれば聞き、全員が揃ってから安全に出発しています。中でも水曜日には、担当の教員と子どもたちが記録ファイルをもとに登下校について話し合う機会を設けています。火災、不審者、地震等に係る避難訓練についても継続して実施していき、引き続き、安心・安全や防犯には十分に注意を払っていききたいと思ひます。

12	相談ごとやなやみごとがあった時、学校で話を聞いてもらうことができる。	児童
12	毎月教育相談日が設けられているなど、お子さんのことについて学校と相談しやすい。	保護者



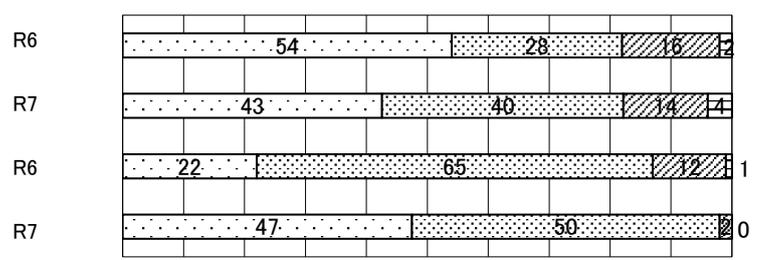
教職員はできる限り児童と向き合う時間を増やし、生活アンケートを実施したり、その回答を踏まえた児童との面談による丁寧な見取りを行ってきました。そのことが児童の安心と心豊かな学校生活につながっていると捉えて一人ひとりの発言に耳を傾けてきましたが、児童の肯定的な評価が下がっています。これは学校にとっての大きな課題であると受け止めています。子どもたちが日常的に教職員に話しかけやすい雰囲気づくりを重視し、さらに安心して過ごせる学級づくりに全教職員で取り組んでまいります。ご家庭でもお子さまの様子で気になる点がありましたら遠慮なく学校までご相談ください。保護者の皆様とも情報共有を大切にしながら進めていきたいと思ます。

13	保健室の先生などのお話やけんこう日記などのとりくみをとおして、早寝早起き朝ごはんやスクリーンタイムなど自分の生活を見直すことができている。	児童
13	けんこう日記などの取組を通して、早寝早起き朝ごはんやスクリーンタイムなど子どもの生活を一緒に見直すことができている。	保護者



昨年同様、児童の肯定評価の割合と保護者の肯定評価の割合に差がある結果となりました。養護教諭の話や学期に1回のけんこう日記に取り組むこと、長期休業明けの生活チェック(りゅうたろうチェック)により生活リズムに対する子どもたちの意識は高いと考えます。しかし、スクリーンタイムの時間を考えると使用状況はまだまだ課題が多いと感じています。スクリーンタイムについて、時間を決めたり、時間を短くするよう学校でも指導、啓発を進めています。加えて、今年度もNTTドコモ等の外部講師による全学年を通したスマホやインターネットの危険性や正しい使い方について学習をしていきます。安全な使い方や情報リテラシー(マナー)を身につけるために、引き続きご家庭で話し合っ適切なルールを決め、守れるように見直していただきたいと思います。

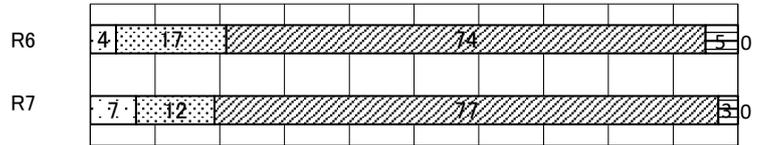
14	学校でのできごとや学習していることなどをお家の人に話している。	児童
14	学校生活の様子や学習内容が、参観・懇談・通信・ホームページ・すぐーなどで知ることができる。	保護者



児童がお家の人に学校でのできごとを話している肯定割合は昨年と変わりませんが、保護者からの学校生活の様子や学習内容を知ることができる肯定評価の割合が大きく増えました。「竜小日記」と題したブログの更新や、担任が出している各学年・学級の通信と合わせて、学校の様子が保護者に伝わるように子どもたちの様子をお伝えしてきた成果と考えます。ホームページへアクセスへは、学校だよりのQRコードから読み取っていただくか、次のサイトからご覧ください。なお、「竜小日記」には、メニューバーからお入りください。
<https://ryuo-es.wixsite.com/ryuo-es>



15	子どもの学校生活を参観する機会 (学習参観・行事)の回数は適当である。	保護者
----	--	-----



【R6年度、7年度共に、多い・やや多い・適当・やや少ない・少ないという選択肢から回答いただきグラフでは左から順に表しています。】様々な学習の様子や学校の教育活動をご参観いただく機会を可能な限り持ってきました。お忙しい中とは思いますが、お子様の成長の様子を見ていただき、ご家庭で日ごろの学校での様子について親子で話し合う機会としていただければと思います。子どもたちの頑張る姿や学校の取組を実際に見ていただくことで、地域に開かれた学校作りを一層めざしていきたいと考えています。

記述式アンケートには、温かい励ましや率直なご意見をお寄せいただき、ありがとうございました。すべてに個別にお返しはできませんが、一つひとつを大切に読み取り、学校の改善に繋げていきたいと考えております。今後とも学校運営へのご理解とご協力をお願いいたします。
学校評価アンケートにご協力いただきましたこと、心より御礼申し上げます。